

令和6年度 第2回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会報告

1 日時 令和7年2月26日(水) 11:00~12:00 場所:本校あやぐも館

2 参加者

学校評議員(五十音順)

井上 恵一(野村石油(株)代表取締役)
熊谷 琢磨((有)フローラルクマガイ代表取締役)
土居 真二(西予市宇和文化会館事務局長)
山岡 三枝(西予市野城総合福祉協会事務局長)

学校関係者評価委員(五十音順)

谷本 英樹(有限会社タニヤ代表取締役)
土居 文人(西予市野村支所長)
西田 卓史(野村中学校教頭)

野村高校学校職員

松井 由紀子(校長)
一色 卓也(教頭)
濱田 洋光(事務長)
門田 生(総務課長)
小西 真由子(教務課長)
中島 定信(生徒課長)
徳永 裕史(進路課長)
松木 敦志(学校魅力推進課長)
兵頭 宏美(農場長)
千羽 孝幸(総務課)
宮岡 武(総務課)



3 次第

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長あいさつ
- (3) 議題

ア 各課説明(各課長)

イ 意見交換

○来年度の農業科(畜産科)の活動について

- ・来年度、展示施設建築の予定とのことだが、施設の予算規模ほどの程度で、スケジュールはどうなっているのか?
→スケジュール等、まだ未確定であり、この場での明言は避けさせていただきたく思う。予算は来年度に限られたものとなる。生徒とともに作っていく面を大切にしていきたいと考えており、現在も校内で話し合いを行っている。

○生徒の活動について

- ・高校生が様々な地域行事に参加していただいている。今後も継続してほしい。
- ・昨年度から県外の中学生や高校生の修学旅行生を野村で受け入れており、今年度は野村高校にも手伝っていただいた。来年度も連携を図り、協力をお願いしたい。
- ・学習指導(教務課関係)のところで生徒から学校への評価がすべてAとなっている。この点と併せて、進学の実績人数を見ると、学校の指導の積み重ねが成果として表れていると感じた。人数が少ないため、それぞれの生徒に併せたカリキュラムを展開することは難しいと思うが、今後も検討してほしい。先生方の指導が実を結んでいてよかった。
- ・生徒の輝いている姿を報告していただいたので、どうすればそのような輝いた生徒を今後も増やしていけるかを考えた。少しでも手伝えることがあれば手伝いたい。

- ・生徒課関係で地域の方々への挨拶が少ないとおっしゃっていたが、地域住民としてはできていると感じている。もし挨拶が無かったら、私たち地域の者から声をかけていきたい。高校生が中学生を引っ張り、中学生が小学生を引っ張るという流れができている。続けてほしい。また、動物ふれあい部の活動も広げてほしい。
- ・今年の5月にも朝霧湖マラソン大会を実施する予定だが、2500名以上の応募があった。小中高のボランティア活動を選手の皆さんが体感されて、大変好評である。今後ご協力いただきたい。野村の子供たちを、野村で育てて社会に送り出していきたいと考えている。
- ・中学校と高校は運動会や文化祭の時、また箏曲部での交流などにおいても身近に関わっていただいている。野村高校へ良い印象を持っている生徒が多い。市外へ進学したいという生徒もいたが、野村高校へ変えた生徒もたくさんいる。子どもたちは、生徒一人一人へのきめ細かい指導があることを野村高校の大変良い点と感じている。

- (4) 事務連絡
- (5) その他
- (6) 校長あいさつ
- (7) 閉会の言葉